

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズすてっぷかいぜ		
○保護者評価実施期間	R6年 9月 20日		～ R6年 10月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	R6年 9月 20日		～ R6年 10月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 11月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	系列の事業所が7か所ある。お互いの支援内容を共有し合ったり、事業所が一堂に会する全体会議を通して療育に関わる学びがある。	他事業所のアイデアやヒヤリハット事例を持ち帰り、事業所内ミーティングで報告している。	頂いた情報を職員間で話し合い、当事業所での取り入れ方を検討し、充実した活動に繋げていく。
2	発達特性や年齢、興味に合わせてプログラムの取り組みに変化をつけ、充実した取り組みになるようにしている。	同じプログラムでも発達特性に合わせて、アプローチを変えている。利用者様が意欲を掻き立てるような、視覚的手立て、環境設定を職員同士で話し合っている。	利用者様の発達段階や興味関心について、フェイスシートやアセスメントを再確認し理解を深める。支援前に進め方を具体的に共有していく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動スペースが狭い。	その日の利用者様の年齢層によっても異なるが、曜日によっては狭いと感じる事がある。運動あそび、集団ゲームではもう少し広い方が思いきり走れる。	近隣の体育館を積極的に活用し、スペースを気にしないでのびのびと体を動かす。
2			
3			